



誰も取り残さない船橋へ

左近りょう通信

〒274-0822 船橋市飯山満町3-1921-36

TEL 080-5596-9241 Email sakonryo0320@gmail.com



【政治への思い】

政治家を志すきっかけとなったのは、教員時代の経験です。優秀な先生がたくさんいるにもかかわらず、なかなか教育環境が改善しない事例を見てきました。より広い視野でみた際に、行政の立場で子どもや先生をサポートする道もあるのではと考えるようになりました。

その後、得意なプログラミングを活かして転職し、ITの見識を高めることで、行政システムの成功に必要な要素についても肌感覚でわかるようになりました。教育とIT、公務員と民間企業、オフィスワークとリモートワーク。様々な立場を経験している私だからこそできる政策があります。ぜひとも皆さまのご意見を聞かせてください。

【重点分野】→詳細は[こちら](#)



① ITの力で行政をアップデート

行政システムが使いやすいものになるには、ベンダーに任せきりではなく、発注者のリテラシーと熱意が求められます。システムエンジニアの経歴を活かして、最適なDX化に取り組みます。

② 国際化は地域との融和を第一に

グローバル化が進む昨今ですが、法整備が間に合わないあまりに治安悪化を招く事例が他市で見られます。船橋市も決して他人事ではありません。地域の安心・安全が第一。時には対話、時には毅然とした対応を。

③ 学校教育現場を疲弊させない

多忙や職責の重さから、学校の先生は疲弊しており、教員採用試験倍率も減少傾向が続いています。国の根幹である教育がもっと魅力に溢れるよう、行政の立場からサポートします。

④ リモートワークがしやすいまちづくり

船橋市から東京に通勤されている方は多いと思いますが、通勤による体力消耗は決して無視できません。市内の環境整備により、共働きの時代に合った働き方を推進します。

⑤ アイディア重視の生涯学習

人生100年時代を健康に過ごすためには、充実した生涯学習の施策が必要です。一方でエンターテインメントのコストは下がり続けており、アイディア次第でいくらでも「楽しい！」が実現できる世の中になっています。

⑥ 地方自治を守る

緊急事態条項の追加が国会で議論されておりますが、今の内閣が権限を拡大することは容認できません。船橋市のことを船橋市民が決める、当たり前意思決定の権利を守ります。

～左近りょうプロフィール～

平成4年、北海道生まれ。茨城大学理学部物理学科を卒業後、高校教師として勤務したのち、IT企業に転職。

船橋市民歴＝年齢の妻と、長男の3人 家族で楽しく暮らしています。飯山満町スクールガード。

特技：スマホアプリ開発、競技プログラミング、ソフトテニス、サッカー観戦。